

無限の可能性を秘めた 新入生の皆さんへ



徳島県知事 **おおた 大 田 正**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。大きな希望と期待を胸に、晴れて徳島大学に入学されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

【失敗を恐れず、チャレンジを】

さて、わが国では、厳しい雇用経済情勢、少子高齢化や環境問題への対応、地方分権、地域間競争の本格化など、大きな変革のうねりが押し寄せ、あらゆる分野でこれまでのシステムが見直されつつあります。

県では、こうした状況に正面から向き合い、「ものから人へ」をキーワードに、県政の改革と新しい徳島を創造する取り組みを進めています。

新しいことを始めるのは、産みの苦しみを伴ったり、困難に遭遇することがありますが、様々な課題に積極果敢に取り組むことが必要です。皆さんも、失敗を恐れず、何事にもチャレンジし、充実した大学生活を送ってほしいと思います。

【徳島づくりに参加を】

そして、皆さんには、徳島をよく知っていただきたいと思ひます。徳島に生まれ育った方や大学生活で初めて徳島でくらす方など、これまでの徳島との係わり方はそれぞれ異なると思ひますが、今以上に徳島のことを学び、理解してほしい

と思ひます。できればボランティアなどいろいろな分野や地域において、積極的に活動していただきたいと思ひます。

また、県では、民意が反映できる「県民主権」の県政を実現するため、知事との対話集会である「ほなけんど塾」を開催するとともに、重要事業については、「タウンミーティング」を行い、県民の皆様から、ご意見・ご提言をいただいたところでありませう。なお、県のホームページを窓口として、「知事への手紙」や「パブリックコメント」のコーナーを設けていますので、若い皆さんからの県政に対する考えを、是非聞かせてほしいと思ひます。

【産学官連携に期待】

さて、近年の産業の国際化や技術革新の進展という流れの中で、全国的に「産学官の連携」の重要性が認識されるようになりませう。徳島においても、産業競争力の強化を図るため、新産業創出をはじめとした様々な分野での組織的連携が図られておりませう。

大学は学術研究機関として、さらには教育機関として、県は行政機関として、その役割は異なりますが、地域へ貢献し、その活性化を図り、県民生活の向上のため、互いに協働していかなければなりません。このため、学と官が、今日的

な課題である環境、情報技術、医療など様々な分野に関する情報交換や企画立案の場を持つことは、大変重要であると思ひられます。

皆さんも、近い将来、徳島大学の一員として、産学官連携や地域活性化にご参加いただけるよう、大いに期待してあります。

【豊かな創造力で前進を】

これからの時代を担い、徳島の未来を切り開いていくのは、無限の可能性を秘めた若い皆さんです。豊かな創造力と柔軟な発想により、皆さんが大きく飛躍し、徳島の新たな活力になることをご期待申し上げます。

最後に、皆さんの大学生活が、実り多し有意義なものとなりますよう、心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

【略歴】

- 昭和38年3月 徳島県立池田高等学校校祖
- 昭和38年12月 谷分校卒業
- 昭和43年11月 日本専売公社徳島工場入社
- 昭和62年4月 徳島県議会議員
- 平成14年4月 徳島県知事